

あすなろだより 5月、6月号

広島市立美鈴が丘高等学校あすなろ会 担当 3-3、3-4、2-1



広島では5月12日から発動した緊急事態宣言が6月20日まで延長され、予定していた活動を行うことができませんでした。3月から5月初旬の地域の活動に参加した様子をお伝えします。

○「子ども食堂」に参加しました！

子ども食堂とは、地域住民や自治体が主体となり、無料または低価格帯で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場を指しています。また、単に「子どもたちの食事提供の場」としてだけではなく、帰りが遅い会社員、家事をする時間のない家族などが集まって食事をとることも可能です。このように、「人が多く集まる場所」ができたことで、地域住民のコミュニケーションの場としても機能しているのです。子ども食堂は、民間発の自主的、自発的な取り組みから始まりました。

(出典：農林水産省公式サイト「子供食堂と連携した地域における食育の推進」)

美鈴が丘団地では、子ども食堂が毎月第2土曜日に美鈴が丘公民館で予定されています。今年度は4月10日と5月8日の土曜日に行われました。美鈴が丘高校では、3年生の「発達と保育」の選択者を中心に延べ10名が参加しました。



家事である食事準備の軽

減や、コロナのため近所の方と交流する機会の減少を解消するために行われているそうです。コロナで親の仕事が不安定になり、夕食が遅くなったりしている子どもや忙しいお母さんのために少しでも安く、栄養のある美味しい料理を提供していました。

調理は、公民館でされている男性だけの料理サークルのメンバーの方が作られています。除菌シート・除菌スプレーやパーテーションなども



設置されており、コロナに対応した工夫がなされていました。

【参加者の感想】

- ・子ども食堂に来ている人は家族や友達と来ている人が多かったです。
- ・地域の方々がとても優しくくださり、このイベントが楽しくできる理由がわかりました。
- ・次回は地域の方といろいろなこととお話してみたいです。



○宿題やつつけ隊に参加しました。

佐伯区社会福祉センターの一部を借り、毎週土曜日、地域の方と一緒に小学生に勉強を教えています。

【参加者の感想】

最初は、壁があったけど、回数を重ねるごとに自分も新たな発見があり、小学生と触れ合いながら楽しく学ぶことができます。再開されたら、また参加したいと思います。



○ウォーク&クイズラリー



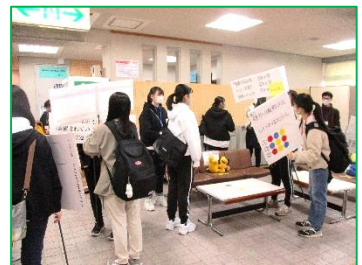
美鈴が丘地区では、3月14日にウォーク&クイズラリーを開催しました。これは、地域の方に、ウォーキングをしながら、地域のことをより知ってもらい、身体を動かす習慣を身につけるために行われました。あすなる会も準備からお手伝いをしました。

バナナコース・おにぎりコース・シュークリームコースと体力に合わせて3つのコースに分かれ、公民館を出発しました。

私たちあすなる会もコースに分かれて一緒に歩き、各コースの途中にある公園で地域に関するクイズを出しました。例えば、「美鈴が丘中学校の前にある陸橋の名前は？」……皆さんはわかりましたか？

最後はどのグループも「らふいとHOUSE」にゴールしました。天気もよく、春のさわやかな半日を過ごしました。

※「らふいとHOUSE」は、地域の高齢化、一人暮らしの人の増加による孤立化、世代間交流の減少が問題となる中、地域住民グループと団地内でグループホームを運営するNPO法人が協働し、平成24年10月に団地内の空き家を活用して世代を超えて誰もが気軽に立ち寄れるコミュニティスペースとして開設されたものです。



準備の様子



【参加者の感想】

- ・コロナ下での久しぶりに行われた地域イベントだったため、参加者も多く、参加者間でのコミュニケーションもたくさん行われていました。
- ・子どもたちは元気がよく、団地内を走り回るので、追いかけるのが大変でした。
- ・改めて、地域活動やコミュニケーションの大切さを実感しました。